

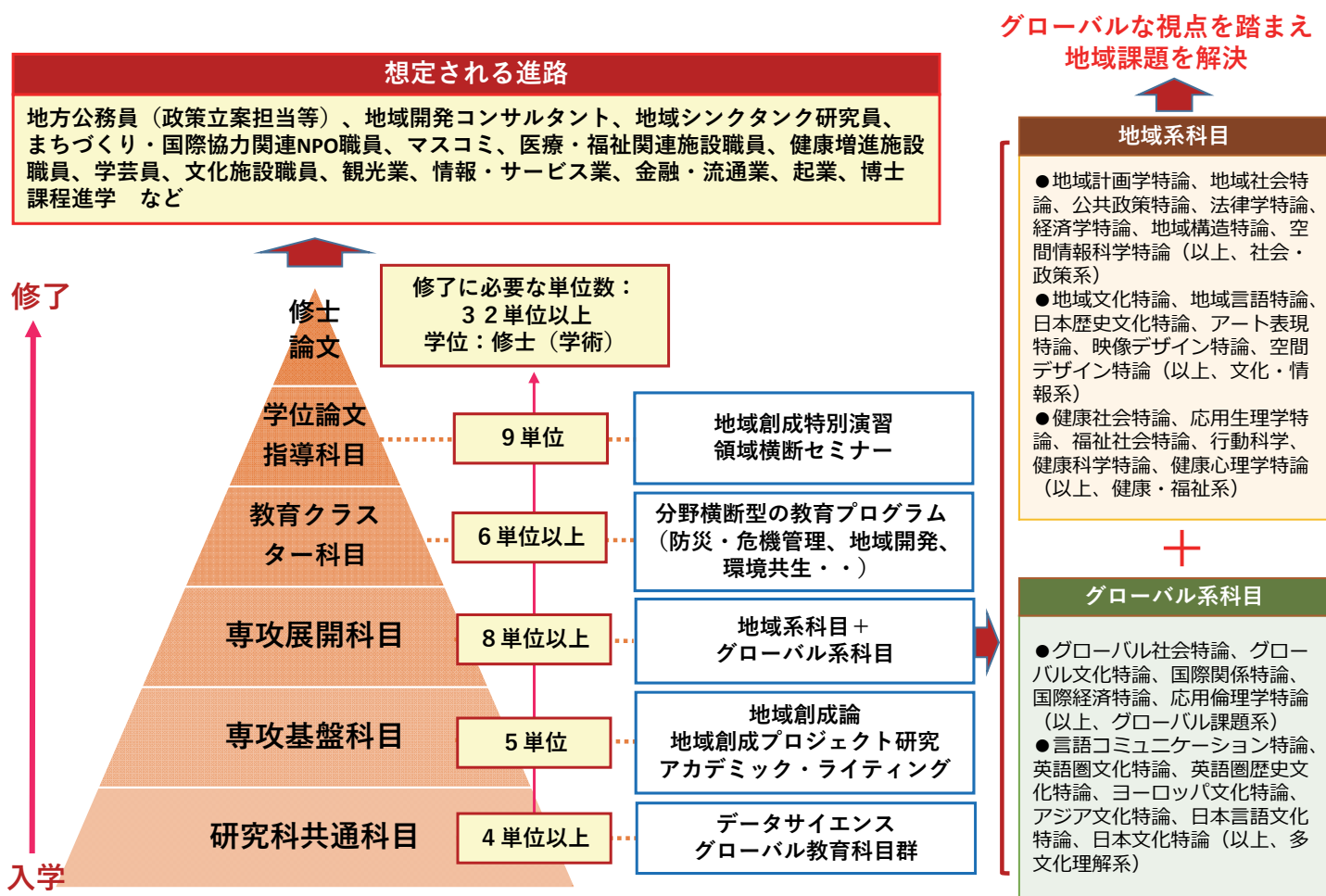
資 料 目 次

- 資料 1 在学生の大学院への進学希望調査（調査様式）
- 資料 2 国立大学法人徳島大学に関するアンケート（集計結果）
同 上 （調査様式）
同 上 （説明資料）
- 資料 3 四国の地域おこし協力隊アンケート（調査様式）
- 資料 4 国立大学法人徳島大学新大学院に関するアンケート（調査様式）
- 資料 5 大学院進学に関するアンケート（集計結果）
同 上 （調査様式）
- 資料 6 大学院説明会資料
大学院進学に関するアンケート（集計結果）
同 上 （調査様式）
- 資料 7 国立大学法人徳島大学新大学院に関するアンケート（調査様式）
同 上 （説明資料）

総合的・グローバルな視点を持った地域創成人材を育てる



地域創成専攻（仮称） カリキュラムの概要



国立大学法人徳島大学に関するアンケート結果

問1 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(以下から選択し○(複数回答可。))

①北海道	②東北	③関東	④中部	⑤近畿	⑥中国	⑦四国	⑧九州
15	7	200	55	172	105	206	30

問2 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(以下から選択し○(複数回答可。))

①農業、林業	15	⑧運輸業、郵便業	12	⑮教育、学習支援業	19
②漁業	1	⑨卸売業、小売業	75	⑯医療、福祉	49
③鉱業、採石業、砂利採取業	1	⑩金融業、保険業	21	⑰複合サービス事業	5
④建設業	109	⑪不動産業、物品賃貸業	14	⑱サービス業(他に分類されないもの)	59
⑤製造業	209	⑫学術研究、専門・技術サービス業	60	⑲公務(他に分類されるものを除く)	15
⑥電気、ガス、熱供給、水道業	7	⑬宿泊業、飲食サービス業	12	⑳その他	24
⑦情報通信業	87	⑭生活関連サービス業、娯楽業	8		

問3 貴社・貴団体ではどのような分野の学部(大学院)を卒業(修了)した人物を採用したいとお考えですか。(以下から選択し○(複数回答可。))

①総合科学分野	322	⑤工学分野	551	⑨医学分野	71
②人文・社会・人間科学分野	289	⑥農学分野	206	⑩歯学分野	50
③心理学分野	161	⑦食物学分野	127	⑪薬学分野	96
④理学分野	315	⑧栄養学分野	118	⑫保健学分野(看護、臨床検査、放射線検査)	98

問4-1 過去3カ年の平均的な採用者数(募集者数)についてお教えてください。また、そのうち大学院修了生数が分かればお教えてください。

総数 21,865名程度(募集者数 50,223名程度)

うち大学院修了生 2,943名程度(募集者数 3,035名程度)

問4-2 貴社・貴団体において、大学院修了生を採用した実績がある場合、または採用しようとしている場合に、学部卒業生と大学院修了生の違いを意識していますか。

①意識している	196	②意識していない	495
---------	-----	----------	-----

問4-3 意識している部分について差し支えない範囲でお教えてください。

(主な回答内容)

- ・大学院生の、より専門的な知識、研究活動姿勢、探求心、将来のリーダー性。
- ・大学院生は高度な専門知識を有しており将来の研究開発を担う人材と考えている。
- ・専門分野における知識や技能の修得はもちろん、学内外におけるコミュニケーション力なども意識する部分かと思えます。
- ・研究職において即戦力として従事していただけるまでの基礎ができている場合が多い。
- ・問題発見から解決へ自主性・能動的に導く力。基礎(学問・思考力など)を応用する力。
- ・大学院にて取り組んできた研究テーマ。研究途上でどのような課題に取り組んできたか。
- ・特に技術系研究・開発に就いていただくにあたっては、論理的思考力、自ら仮説を立てて研究に取り組む能力の高さ。
- ・専門性がより高いことから新商品開発や技術開発の職務を想定して採用しています。
- ・自身の研究分野に関する理解と他者への説明能力がある人物かどうか。
- ・専門性の高さ、課題解決能力の高さ、情報収集力の高さなど多岐に渡ります。

問4-4 貴社・貴団体において、今後、大学院修了生の必要性(採用見通し)は高まりますか。

①大きく高まる。	36	④減る。	10
②ある程度高まる。	120	⑤わからない。	71
③心理学分野	465		

問5-1 本学の卒業生(大学院修了生を含む。)を採用したことがありますか。

①採用したことがある	362	②採用したことはない	337
------------	-----	------------	-----

問5-2 問5-1で①を選択した場合にお伺いします。

①学部卒業生を採用した。	183
②大学院修了生を採用した。	43
③学部卒業生と大学院修了生の両方を採用した。	142

問6-1 本研究科の「教育クラスター」の考え方についてお伺いします。

①大いに評価できる。	126	④評価できない。	1
②評価できる。	419	⑤わからない。	148
③あまり評価できない。	4		

問6-2 問6-1で③または④を選択した方にお伺いします。評価できない部分について忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

(主な回答内容)

- ・業務・実務に即していないと思う。(建設業)
- ・良い考えではあるが弊社との関連は薄い。(製造業(配電盤))
- ・たとえば機械工学でも技術者になるために4年間くらい勉強しないと一人前にならない。できるだけ早く専門と物理数学を勉強する必要はある。(製造業(カム設計製造))
- ・考え方は理解するが各分野の方向性が当社が求める人材と適合していないため。(業種未記入)
- ・同じ時間であれば広く浅くになり専門性が深まらない。(製造業(輸送用機器・医療機器))
- ・分野横断型教育は有用だと思うが、スペシャリストではなく、ジェネラリストになりそうな気がします。(サービス業)
- ・教育クラスターの内容をどのレベルまで習得できるのか?専攻とクラスターの選べる内容に限定がある。(製造業(化学品、素材))

問6-3 上記でお示した教育クラスター分野の中で、貴社・貴団体が考える今後必要となる分野があればお教えてください。

フォトニクス	37	ロボティクス・人間支援	107	応用生物資源	12
防災・危機管理	81	データサイエンス	113	食品科学	18
地域開発	33	機能性材料	73	6次産業	24
環境・エネルギー	51	環境共生	43		
メディカルサイエンス	34	農工連携	35		

問7 採用にあたり大学院修了生に求める能力で、貴社・貴団体が重視する項目を以下の中からお選びください。(以下から選択し○(複数回答可。))

①専門分野に関する高度な知識・技能	356	④グローバル課題への適応力	98	⑦プロジェクト等のマネジメント能力	182
②文理横断を含めた総合的・俯瞰的な視点	196	⑤他者との連携・協働力(コミュニケーション能力)	530	⑧高度で汎用的な情報処理・情報発信能力	126
③課題発見・解決能力	446	⑥行動力・リーダーシップ	424	⑨その他	12

問8-1 地域創成専攻の修了生の採用意向についてお聞かせ下さい。

①積極的に採用したい。	128	④採用しない。	34
②採用したい。	140	⑤わからない。	130
③採用する可能性はある。	265		

問8-2 臨床心理学専攻の修了生の採用意向についてお聞かせ下さい。

①積極的に採用したい。	42	④採用しない。	143
②採用したい。	72	⑤わからない。	202
③採用する可能性はある。	244		

問8-3 理工学専攻の修了生の採用意向についてお聞かせ下さい。

①積極的に採用したい。	331	④採用しない。	16
②採用したい。	150	⑤わからない。	74
③採用する可能性はある。	141		

問8-4 生物資源学専攻の修了生の採用意向についてお聞かせ下さい。

①積極的に採用したい。	73	④採用しない。	69
②採用したい。	132	⑤わからない。	189
③採用する可能性はある。	240		

問8-5 生物資源学専攻には3コース設ける予定ですが、採用したいコースをお聞かせください。(以下から選択し○(複数回答可。))。複数ある場合は、順位をお付けください。

①応用生命科学コース	(順位1)	229	②食料生物科学コース	(順位1)	119	③生物生産科学コース	(順位1)	117
	(順位2)	58		(順位2)	61		(順位2)	139
	(順位3)	62		(順位3)	128		(順位3)	53

問9-1 地域創成専攻への社会人入学を勧めたいと思いますか。

①積極的に入学を勧めたい。	17	④入学を勧める予定はない。	315
②入学を勧めたい。	27	⑤わからない。	260
③入学を勧める可能性はある。	84		

問9-2 臨床心理学専攻への社会人入学を勧めたいと思いますか。

①積極的に入学を勧めたい。	11	④入学を勧める予定はない。	346
②入学を勧めたい。	20	⑤わからない。	262
③入学を勧める可能性はある。	64		

問9-3 理工学専攻への社会人入学を勧めたいと思いますか。

①積極的に入学を勧めたい。	35	④入学を勧める予定はない。	258
②入学を勧めたい。	34	⑤わからない。	258
③入学を勧める可能性はある。	121		

問9-4 生物資源学専攻への社会人入学を勧めたいと思いますか。

①積極的に入学を勧めたい。	12	④入学を勧める予定はない。	328
②入学を勧めたい。	28	⑤わからない。	263
③入学を勧める可能性はある。	71		

問10 本研究科または各専攻の人材養成や教育について、ご意見・ご要望がありましたらお書き下さい。

(主な回答内容)

- ・幅広い分野で活躍できる人材の輩出に期待します。
- ・様々な分野の体験を学生時代にすることは、自分が何を将来やりたいのか、どんな仕事に興味があるのかといった就職の手助けになると思います。また、多くの人と接する機会もありそうなので、マネジメント能力やコミュニケーション能力が高い人材が養成され社会人として働くうえで有利になると考えます。
- ・知識(専門性)向上にプラスして他者との連携・協働力向上にも期待いたします。
- ・複数人で協力して成果をあげるような教育に力をいれていただければと思います。
- ・協調性を持ち様々な分野において積極的にチャレンジすることのできる人事が魅力です。
- ・教育クラスターのアイデアは素晴らしいと思います。専門特化よりも異分野融合力が研究業界でも求められておりますので現実必要とされる能力の開発につながる教育プログラムではないかと期待しています。
- ・実社会へ貢献できてこそその教育や人材育成かと考えています。世の中の変化とともにこれまで必要とされてきたスキルとこれから必要とされるスキルもかわりつつあり”何を教えていくか”も変える必要があると思います。しかし実社会では種々な人と共に力を合わせて働く力が必須であり、コミュニケーション能力ややり抜く力があってこそその専門知識・スキルかと思えます。礼儀・作法といった躰から、感謝する心、自分の頭で考える力、独りよがりではなく集団や組織への貢献を考える力、まとめる力、ストレス耐性・・・といった”不偏的な人としての教育”がより一層大切な時代になっていると考えます。
- ・地域に根ざした大学、人としての資質形成に力を入れているので、是非、徳島大学出身の人材を採用させて頂きたいです。
- ・今後は人材の多様性が求められます。幅広い知識とそれを活かすことができる素養も必要と考えます。複数の分野を柔軟に修得できる人材の教育をお願いします。
- ・高い技術や専門性のある知識は将来必ず役に立つので学生が興味を持って取り組めるように後押ししてあげてほしいと思う。
- ・テーマ(内外要請に関わらず)に対して人・チームが対応する事になると思いますが、クラスター制度はシステム設計を誤ると役に立たないと思います。
- ・高度な専門知識を活かし課題発見・解決することができる人材を必要としています。高度な専門知識はコンサル業者へ依頼することができるが課題解決するための行動力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、協働力が行政マンに必要な人材と考えています。

国立大学法人徳島大学に関するアンケートについて

企業・団体の皆様へ

平素は本学の教育研究活動にご理解とご支援を賜りありがとうございます。

徳島大学では、平成 28 年度に設置した「総合科学部」「理工学部」及び「生物資源産業学部」に接続する大学院創成科学研究科（仮称）の設置（平成 32 年 4 月設置予定）に向けて準備を進めています。

従来の大学院教育は、専門教育に重点を置いた、いわゆる縦割り型の教育体制となっています。しかしながら、変化する社会の重要課題や産業界のニーズに対応できる人材を養成するためには、従来の専門教育を重視した縦割り型の教育体制では限界があり、関連する知識を幅広く学修できる柔軟な教育体制へ転換することが重要であると考えています。

本大学院では、「所属学部」における専門教育と接続したカリキュラムを主に、新たに学生自身が興味を持つ研究分野にかかる関連分野の知識を学修できるカリキュラム（教育クラスター）を導入します。（※教育クラスターについては、設問 6 及び別添資料をご覧ください。）

これにより、専門的知識・技術を軸に関連分野の知識・技術を視野に入れ、他者と協働して「中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえ、グローバルかつ複合的な視点から技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人の養成」を目指します。

【教育組織： 現行 → 新設】

(現) 大学院総合科学教育部 → (新) 大学院創成科学研究科（仮称）
大学院先端技術科学教育部

【学部から大学院への接続： 学部 → 大学院】

総合科学部 → 大学院創成科学研究科 地域創成専攻
→ 大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻
理工学部 → 大学院創成科学研究科 理工学専攻
生物資源産業学部 → 大学院創成科学研究科 生物資源学専攻

本アンケートは、企業・団体の皆様から本研究科の設置計画に対するご意見をお伺いし、より良い大学院教育を実践するために参考とさせていただくものです。別添の資料をご参照のうえ、以下のアンケートにご協力賜りますようお願いいたします。

年始の多忙な時期であることは承知しておりますが、平成 31 年 1 月 25 日（金）までに、郵送、または FAX、またはメールにてご回答くださいますようお願いいたします。

なお、アンケートで得られた情報や回答は、上記の目的のための統計資料としてのみ利用し、目的以外に利用することはありません。また、アンケートは無記名で行い、皆様の個人情報を守ることをお約束します。

国立大学法人 徳島大学

大学院創成科学研究科（仮称）設置準備委員会

担当： 徳島大学常三島事務部理工学部事務課内 石井
TEL： 088-656-9955
FAX： 088-656-7328
E-mail： jo_buchou@tokushima-u.ac.jp

※平成 31 年 1 月 25 日（金）までにご回答くださいますようお願いいたします。

国立大学法人徳島大学に関するアンケート【設問・回答票】

問1 貴社・貴団体の所在地についてお教えてください。

- ①北海道 ②東北 ③関東 ④中部 ⑤近畿 ⑥中国 ⑦四国 ⑧九州

問2 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(以下から選択し○(複数回答可。))

- ①農業、林業 ②漁業 ③鉱業、採石業、砂利採取業
④建設業 ⑤製造業 ()
⑥電気、ガス、熱供給、水道業 ⑦情報通信業 ⑧運輸業、郵便業
⑨卸売業、小売業 ⑩金融業、保険業
⑪不動産業、物品賃貸業 ⑫学術研究、専門・技術サービス業
⑬宿泊業、飲食サービス業 ⑭生活関連サービス業、娯楽業
⑮教育、学習支援業 ⑯医療、福祉
⑰複合サービス事業 ⑱サービス業(他に分類されないもの)
⑲公務(他に分類されるものを除く)
⑳その他 ()

問3 貴社・貴団体ではどのような分野の学部(大学院)を卒業(修了)した人物を採用したいとお考えですか。(以下から選択し○(複数回答可。))

- ①総合科学分野 ②人文・社会・人間科学分野 ③心理学分野
④理学分野 ⑤工学分野 ⑥農学分野 ⑦食物学分野
⑧栄養学分野 ⑨医学分野 ⑩歯学分野 ⑪薬学分野
⑫保健学分野(看護、臨床検査、放射線検査)

問4 貴社・貴団体における採用の現況について(本学からの採用だけでなく、貴社・貴団体の全ての採用にかかる質問です。)

問4-1 過去3カ年の平均的な採用者数(募集者数)についてお教えてください。また、そのうち大学院修了生数が分かればお教えてください。

総数 _____名程度(募集者数_____名程度)
うち大学院修了生 _____名程度(募集者数_____名程度)

問4-2 貴社・貴団体において、大学院修了生を採用した実績がある場合、または採用しようとしている場合に、学部卒業生と大学院修了生の違いを意識していますか。

- ①意識している。 ②意識していない。

問4-3 問4-2で①を選択した方にお伺いします。意識している部分について差し支えない範囲でお教えてください。(関連設問 問7)

()

問4-4 貴社・貴団体において、今後、大学院修了生の必要性(採用見通し)は高まりますか。

- ①大きく高まる。 ②ある程度高まる。 ③現在と変わらない。
④減る。 ⑤わからない。

※平成31年1月25日(金)までにご回答くださいますようお願いいたします。

問5 貴社・貴団体における本学学生の採用実績について

問5-1 本学の卒業生（大学院修了生を含む。）を採用したことがありますか。

- ①採用したことがある。（→問5-2へ）
- ②採用したことはない。

問5-2 問5-1で①を選択した場合にお伺いします。

- ①学部卒業生を採用した。
- ②大学院修了生を採用した。
- ③学部卒業生と大学院修了生の両方を採用した。

問6 本研究科で導入する教育クラスターについて

従来の縦割り型の教育ではなく、専門教育を主としつつ、今後、社会や産業界で必要となる知識を修得する仕組みとして、研究に基づく分野横断型教育（教育クラスター）を新たに導入します。

この教育クラスターにかかる研究分野は、本学の強みである研究分野と科学技術基本計画で示された重点政策分野から採用しており、教育効果や社会・産業界ニーズ等を検証のうえ、2年程度で見直しすることとしています。

また、教育クラスター分野は、修士課程から博士課程へのキャリアパスとなります。

<平成31年1月現在>

教育クラスター分野	教育クラスターの内容
フォトニクス	光を利用したデバイス設計・製造・評価、光を応用した計測手法や情報通信技術など光応用関連技術につながる基礎知識を修得する。
防災・危機管理	防災・減災関連技術など社会のリスク管理に関連した基礎知識を修得する。
地域開発	徳島の地域特性を活かした社会再創生のための基礎知識を修得する。
環境・エネルギー	人類の持続的な発展に向けたエネルギーの効率的な利用と環境保護につながる基礎知識を修得する。
メディカルサイエンス	理学・工学の知識を医学・医療現場に展開するための基礎知識を修得する。
ロボティクス・人間支援	福祉・介護ロボットや生産技術・流通・計測ロボットなどロボット関連技術につながる基礎知識を修得する。
データサイエンス	膨大なデータから必要な情報を分類・抽出し、社会の諸問題を効率的に解決できるデータ解析手法やその関連技術の基礎知識を修得する。
機能性材料	社会を支える素材の開発・設計・製造・加工・評価につながる基礎知識を修得する。
環境共生	地域の自然・文化・社会環境を理解し、人間と環境の調和に根ざす持続可能な共生社会の実現につながる基礎知識を修得する。
農工連携	農業の効率化のため、次世代スマート農業に関する基礎知識を修得する。
応用生物資源	生物資源由来の生理活性物質の構造設計や機能改善に有用な工学に関する基礎知識を修得する。
食品科学	地域創生のため、地域の生物資源の特性と有用性に関する基礎知識を修得する。
6次産業	地域創生のため、地域の農林畜水産物を6次産業化する実践力につながる基礎知識を修得する。

※平成31年1月25日(金)までにご回答くださいますようお願いいたします。

問6-1 本研究科の「教育クラスター」の考え方についてお伺いします。

- ①大いに評価できる。 ②評価できる。 ③あまり評価できない。(問6-2へ)
④評価できない。(問6-2へ) ⑤わからない。

問6-2 問6-1で③または④を選択した方にお伺いします。評価できない部分について忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

()

問6-3 上記でお示した教育クラスター分野の中で、貴社・貴団体が考える今後必要となる分野があればお教えてください。

()

問7 採用にあたり大学院修了生に求める能力で、貴社・貴団体が重視する項目を以下の中からお選びください。(以下から選択し○(複数回答可。))

- ①専門分野に関する高度な知識・技能 ②文理横断を含めた総合的・俯瞰的な視点
③課題発見・解決能力 ④グローバル課題への適応力
⑤他者との連携・協働力(コミュニケーション能力) ⑥行動力・リーダーシップ
⑦プロジェクト等のマネジメント能力 ⑧高度で汎用的な情報処理・情報発信能力
⑨その他()

問8 本研究科の各専攻を修了した学生の採用意向についてお聞かせ下さい。

問8-1 地域創成専攻の修了生

- ①積極的に採用したい。 ②採用したい。 ③採用する可能性はある。
④採用しない。 ⑤わからない。

問8-2 臨床心理学専攻の修了生

- ①積極的に採用したい。 ②採用したい。 ③採用する可能性はある。
④採用しない。 ⑤わからない。

問8-3 理工学専攻の修了生

- ①積極的に採用したい。 ②採用したい。 ③採用する可能性はある。
④採用しない。 ⑤わからない。

※平成31年1月25日(金)までにご回答くださいますようお願いいたします。

問8-4 生物資源学専攻の修了生

- ①積極的に採用したい。(問8-5へ) ②採用したい。(問8-5へ)
③採用する可能性はある。(問8-5へ) ④採用しない。 ⑤わからない。

問8-5 問8-4で①～③を選択した方にお伺いします。生物資源学専攻には3コース設ける予定ですが、採用したいコースをお聞かせください。(以下から選択し○(複数回答可。))。複数ある場合は、順位をお付けください。

- ①応用生命科学コース(順位 ___)
②食料生物科学コース(順位 ___)
③生物生産科学コース(順位 ___)

問9 貴社・貴団体の社員等に、本研究科の各専攻への社会人入学を勧めたいと思いますか。

問9-1 地域創成専攻

- ①積極的に入学を勧めたい。 ②入学を勧めたい。 ③入学を勧める可能性はある。
④入学を勧める予定はない。 ⑤わからない。

問9-2 臨床心理学専攻

- ①積極的に入学を勧めたい。 ②入学を勧めたい。 ③入学を勧める可能性はある。
④入学を勧める予定はない。 ⑤わからない。

問9-3 理工学専攻

- ①積極的に入学を勧めたい。 ②入学を勧めたい。 ③入学を勧める可能性はある。
④入学を勧める予定はない。 ⑤わからない。

問9-4 生物資源学専攻

- ①積極的に入学を勧めたい。 ②入学を勧めたい。 ③入学を勧める可能性はある。
④入学を勧める予定はない。 ⑤わからない。

問10 本研究科または各専攻の人材養成や教育について、ご意見・ご要望がありましたらお書き下さい。

()

※平成31年1月25日(金)までにご回答くださいますようお願いいたします。

国立大学法人 徳島大学に関するアンケート

【資料編】

- ◆ 徳島大学では、平成28年度に設置した「総合科学部」、「理工学部」及び「生物資源産業学部」に接続する大学院創成科学研究科(仮称)の設置に向けて準備を進めています。
- ◆ 修士課程は平成32年4月設置予定、博士課程は平成34年4月設置予定。
- ◆ 本アンケートは、企業・団体の皆様からご意見をお伺いし、社会・産業界からのニーズに対応できる大学院の設置計画の参考にさせていただくものです。



総合科学部



理工学部



生物資源産業学部

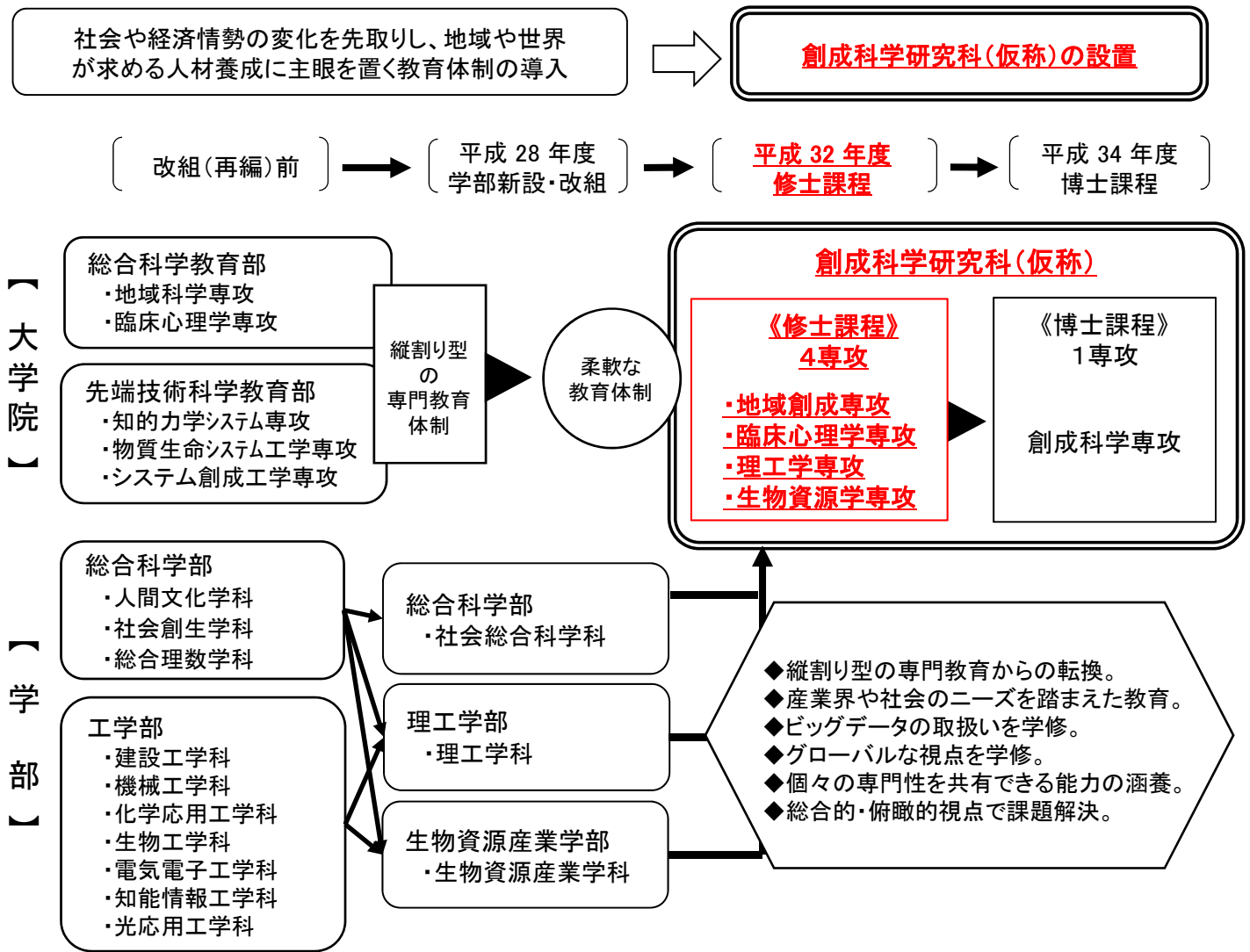
平成31年1月

国立大学法人 徳島大学
大学院創成科学研究科(仮称)設置準備委員会

設置計画の概要

社会経済情勢の変化を先取りし、地域、世界が求める人材養成に主眼を置く教育体制の導入

－ 設置計画の概要 －



－ 教育課程の特色 －

専門分野教育を担保しつつ、課題研究分野を横断的に学修

- **教育クラスター**
 分野横断型科目 (主専攻の科目に対する副専攻的な科目の位置付け)
 ⇒ 産業界・社会のニーズに合わせ柔軟に設定 (2年程度で見直し)
- オープン形式の特別実習・特別演習
 従来の専門分野を超えた研究発表や討議
 ⇒ 各自の研究分野に関する俯瞰的・総合的視点の修得
- 研究科共通科目
 データ取扱いの基本能力を養うPBL演習、国際協力論やグローバルコミュニケーション
 ⇒ データサイエンス教育の強化、グローバル人材の養成

分野横断型教育の概要



「研究に基づく分野横断型教育」として新たに「教育クラスター」を導入

－ 新たに導入する「教育クラスター」とは －

■変化する社会の重要課題や産業界のニーズに対応できる人材を養成するためには、従来の専門教育を重視した縦割り型教育体制を見直し、学生自身が興味を持つ研究分野を幅広く履修できる柔軟な教育体制を構築することが重要であると考えています。

■この考えの下、本研究科では、幅広く知識を得る仕組みとして、研究に基づく分野横断型教育(教育クラスター)を、新たに導入することとしました。

■学生は興味のある研究分野を学修するため、教員の指導の下、下表のいずれかの教育クラスターを選択し、当該教育クラスターに関連する授業科目群の中から、学生自身の課題研究に必要な他分野(他専攻や他コース)の授業科目を選択し履修します。

■これにより、学生は、専門分野(下表縦軸)を追求しながら、教育クラスター分野(下表横軸)の知識を修得することになり、学生自身の課題研究を専門分野の枠を超えて多角的に見る能力を身につけることができるようになります。

■なお、教育クラスター分野は、時代の要請に応えるため、2年程度で見直すこととしています。

区分	所属専攻・基盤コース													
	理工学専攻								地域創成専攻	臨床心理学専攻	生物資源学専攻			
	社会デザイン	機械科学	応用化学システム	電気電子システム	知能情報システム	光システム	数理科学	自然科学			応用生命科学	食料生物科学	生物生産科学	
教育クラスター	フォトニクス	光を利用したデバイス設計・製造・評価、光を応用した計測手法や情報通信技術など光応用関連技術につながる基礎知識を修得												
	防災・危機管理	防災・減災関連技術など社会のリスク管理に関連した基礎知識を修得												
	地域開発	徳島の地域特性を活かした社会再生のための基礎知識を修得												
	環境・エネルギー	人類の持続的な発展に向けたエネルギーの効率的な利用と環境保護につながる基礎知識を修得												
	メディカルサイエンス	理学・工学の知識を医学・医療現場に展開するための基礎知識を修得												
	ロボティクス・人間支援	福祉・介護ロボットや生産技術・流通・計測ロボットなどロボット関連技術につながる基礎知識を修得												
	データサイエンス	膨大なデータから必要な情報を分類・抽出し、社会の諸問題を効率的に解決できるデータ解析手法やその関連技術の基礎知識を修得												
	機能性材料	社会を支える素材の開発・設計・製造・加工・評価につながる基礎知識を修得												
	環境共生	地域の自然・文化・社会環境を理解し、人間と環境の調和に根ざす持続可能な共生社会の実現につながる基礎知識を修得												
	農工連携	農業の効率化のため、次世代スマート農業に関する基礎知識を修得												
	応用生物資源	生物資源由来の生理活性物質の構造設計や機能改善に有用な工学に関する基礎知識を修得												
	食品科学	地域創生のため、地域の生物資源の特性と有用性に関する基礎知識を修得												
	6次産業	地域創生のため、地域の農林畜水産物を6次産業化する実践力につながる基礎知識を修得												

養成する人材像



創成科学研究科（仮称）に置く各専攻各コース等で養成する人材像

－ 研究科で養成する人材像 －

■ 専門的知識・技術を軸に関連分野の知識・技術を視野に入れ、他者と協働して「中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえ、グローバルかつ複合的な視点から技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人の養成」を目指す。

－ 各専攻で養成する人材像 －

専攻	コース・学位	養成する人材像
地域創成専攻	修士(学術)	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識・技能を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と、持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献でき、さらに防災・危機管理や地域開発などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
臨床心理学専攻	修士(臨床心理学)	臨床心理学とその関連領域に関する幅広い知識と論理的思考力を備え心の健康の回復と保持増進の観点から地域社会の構築に貢献でき、さらに防災・危機管理やメディカルサイエンスなどの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
理工学専攻	社会基盤デザインコース 修士(工学)	安全・安心で、自然環境と共生する持続可能な社会創出を担うことのできる、社会基盤となる建造物の建設技術と自然環境保全技術に関する知識を備え、建造物と空間のトータルデザインの技術を有し、さらに防災・危機管理や地域開発などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	機械科学コース 修士(工学)	高度テクノロジー社会の根幹を支えるような新しい機械システムの創生能力を有する人材、及び次世代の産業構造の変化にも対応でき、学際領域分野でも貢献できる柔軟な思考と対応能力を有する「ものづくり」志向の人材、さらにフォトニクスやメディカルサイエンスなどの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	応用化学システムコース 修士(工学)	生活から産業に至る多様な分野に要求される素材提供に関わる人材、及び物質生産と社会の抱える諸問題に化学の観点から解決に取り組むための高度な知識を有し、さらにメディカルサイエンスや機能性材料などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	電気電子システムコース 修士(工学)	次世代のIoT社会を支える電子デバイス開発技術、電気エネルギーの発生と有効利用技術、通信計測制御システム開発技術とそれらを支えるエレクトロニクス回路技術に貢献でき、さらにロボティクス・人間支援や農工連携などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	知能情報システムコース 修士(工学)	情報及び知能システムの設計、開発、保守管理に加えて、AI、データサイエンス、IoT等に関わる新しいICTシステムを創出できる高度な知識と技術、そして諸分野に関する汎用的能力を備え、さらにデータサイエンスや6次産業などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	光システムコース 修士(工学)	光技術の横断的・体系的知識を基に、ナノ光学、光機能性材料やフォトニックネットワーク、立体映像、高時空間分解能イメージング等の光基盤技術・システムを創出する高度な専門性を有し、社会・産業ニーズに応える光技術関連分野の発展に貢献でき、さらにデータサイエンスや農工連携などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	数理科学コース 修士(理学)	数理科学(数学・数理情報)の基礎知識を基に、様々な社会問題や工学分野の問題に対しても総合的かつ論理的にアプローチができ、解決できる応用力を持ち、さらにロボティクス・人間支援やデータサイエンスなどの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	自然科学コース 修士(理学)	多様化する理工学分野の問題に対して、自然科学(物理学・化学・生物学・地球科学)の理学的観点から柔軟で総合的かつ論理的にアプローチして問題を解決でき、さらにフォトニクスや防災・危機管理などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
生物資源学専攻	応用生命科学コース 修士(生物資源学)	高度な専門知識を活かし、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンスへの応用や製品化によって、バイオ産業の育成と経済の発展に貢献でき、さらに環境・エネルギーやメディカルサイエンス、応用生物資源などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	食料生物科学コース 修士(生物資源学)	高度な専門知識を活かして栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見、機能食品開発等によって、食品産業の育成と経済の発展に貢献でき、さらにフォトニクスやデータサイエンス、食品科学などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材
	生物生産科学コース 修士(生物資源学)	高度な専門知識を活かして、農工連携による生物資源の生産管理システム、ゲノム編集などの新技術による育種・品種改良、資源の高機能化によって1次産業を発展させ、地域社会・経済の活性化に貢献でき、さらにロボティクス・人間支援、農工連携、6次産業などの教育クラスター分野に関連した知識を有する人材

四国の地域おこし協力隊等交流勉強会 in 香川県 <アンケート・協力隊向け>

本日はご参加いただき、ありがとうございました。

今後の参考とするため、アンケートにご協力をお願いします。

名前： _____

Q1 今回の四国の交流勉強会の満足度について教えてください

大変満足 満足 やや満足 やや不満 不満 大変不満

Q2 どの部分に満足（あるいは不満）でしたか？

Q3 活動するうえで感じるご自身又は地域の課題・悩みはありますか？

地域住民とのコミュニケーション 行政職員とのコミュニケーション 他の地域おこし協力隊とのコミュニケーション 活動の継続性 技術・知識不足 活動の絞込み 公私のバランス 地域の資源・文化の理解不足 住居環境 活動資金の確保 任期後の進路 地域住民との連携体制
その他

Q4 今後、受けてみたい（興味ある）研修内容がありますか？

Q5 協力隊に着任してから、早めに知っておきたかったことはありますか？

（例：予算の時期や流れ、行政ルールなど）

Q6 地域おこし協力隊の任期終了後、大学院で地域づくりの研究をする、という選択の可能性はありますか？

ある ない

・「ある」とお答えの方に質問です。大学院進学にあたっての障壁は何でしょうか？

学費の負担 通学の負担 理解の不安

その他

ご協力ありがとうございました

国立大学法人徳島大学新大学院に関するアンケートについて

県内 NGO、NPO 団体の皆様へ

平素は本学の教育研究活動にご理解とご支援を賜りありがとうございます。

徳島大学では、平成 28 年度に設置した「総合科学部」「理工学部」及び「生物資源産業学部」に接続する大学院創成科学研究科（仮称）の設置（平成 32 年 4 月）に向けて準備を進めています。構想中の大学院と学部との関係は以下の通りです。

総合科学部 → 大学院創成科学研究科 地域創成専攻
→ 大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻
理工学部 → 大学院創成科学研究科 理工学専攻
生物資源産業学部 → 大学院創成科学研究科 生物資源学専攻

総合科学部からは地域創成専攻及び臨床心理学専攻への進学が想定されていますが、本アンケートは、県内 NPO、NGO 団体の皆様から特に地域創成専攻に対するご意見をお伺いし、より良い大学院教育を実践するために参考とさせていただくものです。地域創成専攻は、「総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と、持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる人材を養成」することを目指しており、地域で活動されている NPO、NGO 団体の皆様からのご意見は大変貴重なものと考えております。よって、添付いたしました資料をご参照のうえ、以下のアンケートにご協力賜りますようお願いいたします。

ご多忙中とは存じますが、**平成 31 年 1 月 25 日（金）までに、郵送、または FAX、またはメール**にてご回答くださいますようお願いいたします。

なお、アンケートで得られた情報や回答は、上記の目的のための統計資料としてのみ利用し、目的以外に利用することはありません。また、アンケートは無記名で行い、皆様の個人情報を守ることをお約束します。

国立大学法人 徳島大学 総合科学部

担当： 徳島大学常三島事務部総合科学部事務課内 原
TEL： 088-656-7101
FAX： 088-656-7298
E-mail： skkachou@tokushima-u.ac.jp

※平成 31 年 1 月 25 日（金）までにご回答くださいますようお願いいたします。

大学院進学に関するアンケート（集計結果）

問1. 理工学部3年次の方に伺います。あなたの現在のコース（系）をお答えください。

1. 社会基盤デザインコース	81
2. 機械科学コース	79
3. 応用化学システムコース	72
4. 電気電子システムコース	74
5. 情報光システムコース（情報系）	76
6. 情報光システムコース（光系）	42
7. 応用理数コース（数理科学系）	24
8. 応用理数コース（自然科学系）	23
計	471

問2. 新設予定の大学院理工学専攻（修士課程）の特長を表面に記しました。現代社会のニーズに応え、今後必要とされる高度専門職業人を養成する本大学院に、あなたは進学したいと思いますか。現時点の希望をお答えください。

1. 進学したい	276
2. 就職したい	139
3. 未定	56
計	471

問3. 問2で「1.進学したい」と回答した方に伺います。あなたは、どのコースを希望していますか。現時点の希望をお答えください。

	自コース	他コース
1. 社会基盤デザインコース	44	
2. 機械科学コース	51	
3. 応用化学システムコース	43	
4. 電気電子システムコース	62	
5. 知能情報システムコース	32	
6. 光システムコース	19	6
7. 数理科学コース	13	
8. 自然科学コース	6	
計	270	6

問4. 問2で「1.進学したい」と回答した方に伺います。表面に記載のとおり、2022年4月に博士課程も設置する計画です。学部・修士・博士課程の接続性に配慮した教育を行う、この博士課程に進学したいと思いますか。現時点の希望をお答えください。

1. 進学したい	46
2. 就職したい	150
3. 未定	80
計	276

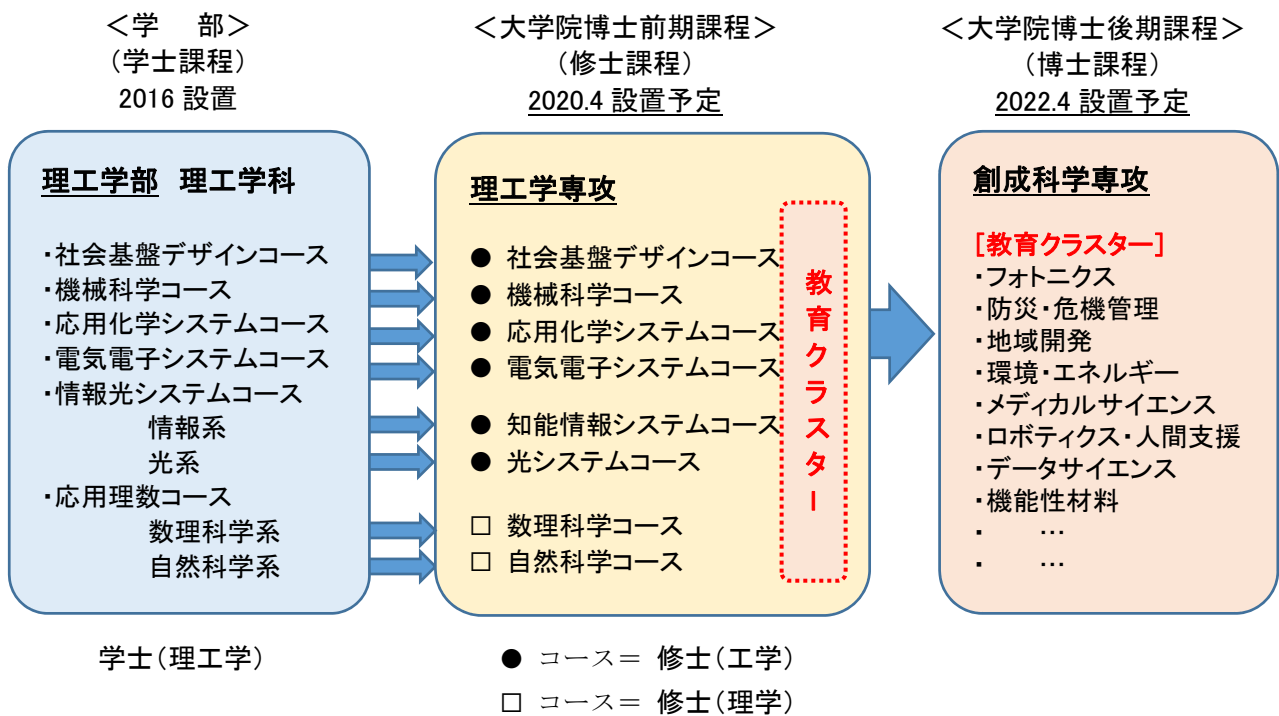
大学院進学に関するアンケート

徳島大学では、「理工学部」に接続する大学院理工学専攻（修士課程）、並びに大学院創成科学専攻（博士課程）の開設に向けて、現在準備を進めています。

昨今、変化の激しい産業分野で活躍できる人材の育成について産業界から要請されていることを受け、文部科学省の有識者会議は、大学における工学系教育の在り方について提言しています。提言では、学部の4年と大学院修士課程の2年で一体的なカリキュラムを組む学部・修士6年一貫制を導入し、柔軟なカリキュラムを組むことで、専門分野の深い知識を習得するとともに、他の分野の幅広い知識も持つ人材を育成できるとしています。

現在計画している大学院理工学専攻は、「理工学部」における専門教育との接続性に配慮したカリキュラムを主に、新たに興味のある研究分野にかかる関連他分野の知識を修得できるカリキュラム（右表：教育クラスター）を導入し、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえ、最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人の養成を目指します。まさに産業界の要請に応えるものです。

つきましては、理工学部第3年次在学中の皆さんの意向を本大学院の開設に反映させたいと考えておりますので、裏面の調査にご協力ください。



○教育クラスター

入学時のオリエンテーションにおいて教育クラスターの説明を受けた後、指導教員と相談して、関連他分野の教育クラスターを選択し、関連する選択科目を学修します。

教育クラスター	教育クラスターの内容
フォトニクス	光を利用したデバイス設計・製造・評価、光を応用した計測手法や情報通信技術など光応用関連技術につながる基礎知識を修得する
防災・危機管理	防災・減災関連技術など社会のリスク管理に関連した基礎知識を修得する
地域開発	徳島の地域特性を活かした社会再創生のための基礎知識を修得する
環境・エネルギー	人類の持続的な発展に向けたエネルギーの効率的な利用と環境保護につながる基礎知識を修得する
メディカルサイエンス	理学・工学の知識を医学・医療現場に展開するための基礎知識を修得する
ロボティクス・人間支援	福祉・介護ロボットや生産技術・流通・計測ロボットなどロボット関連技術につながる基礎知識を修得する
データサイエンス	膨大なデータから必要な情報を分類・抽出し、社会の諸問題を効率的に解決できるデータ解析手法やその関連技術の基礎知識を修得する
機能性材料	社会を支える素材の開発・設計・製造・加工・評価につながる基礎知識を修得する
環境共生	地域の自然・文化・社会環境を理解し、人間と環境の調和に根ざす持続可能な共生社会の実現につながる基礎知識を修得する
農工連携	農業の効率化のため、次世代スマート農業に関する基礎知識を修得する
応用生物資源	生物資源由来の生理活性物質の構造設計や機能改善に有用な工学に関する基礎知識を修得する
食品科学	地域創生のため、地域の生物資源の特性と有用性に関する基礎知識を修得する
6次産業	地域創生のため、地域の農林畜水産物を6次産業化する実践力につながる基礎知識を修得する

○所属コースと選択可能な教育クラスター

所属コース 教育クラスター	社会 基盤 デザイン	機 械 科 学	応 用 化 学 シ ス テ ム	電 気 電 子 シ ス テ ム	知 能 情 報 シ ス テ ム	光 シ ス テ ム	数 理 科 学	自 然 科 学
フォトニクス		○	○	○		○		○
防災・危機管理	○							○
地域開発	○							
環境・エネルギー	○	○	○	○				
メディカルサイエンス		○	○	○	○	○		○
ロボティクス・人間支援		○		○	○		○	
データサイエンス		○		○	○	○	○	
機能性材料		○	○	○		○		○

所属コース 教育クラスター	社会基盤デザイン	機械科学	応用化学システム	電気電子システム	知能情報システム	光システム	数理科学	自然科学
	農工連携	○		○	○	○		
	応用生物資源		○					
	食品科学		○		○	○		
	6次産業		○		○	○		

○就職内定率(過去3年)

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平均
修士修了生	99.7%	99.7%	99.0%	99.5%
工学部卒業生	97.8%	98.2%	98.6%	98.2%

○修士修了生の主な就職先(過去3年)

清水建設(株)、大成建設(株)、鹿島建設(株)、五洋建設(株)、西松建設(株)、JR 西日本(株)、四国電力(株)、NEXCO 西日本(株)、旭化成ホームズ(株)、ローム(株)、(株)神戸製鋼所、パナソニック(株)、ルネサスエレクトロニクス(株)、関西電力(株)、日亜化学工業(株)、日本電気(株)、富士通(株)、三菱電機(株)、(株)リコー、オムロン(株)、(株)デンソーテン、セイコーエプソン(株)、NTT 西日本、オリンパス(株)、(株)NTT ドコモ、住友電気工業(株)、コニカミノルタ(株)、(株)村田製作所、(株)ダイセル、(株)カネカ、(株)ディスコほか

○工学部卒業生の主な就職先(過去3年)

(株)ニタコンサルタント、四国建設コンサルタント(株)、セントラルコンサルタント(株)、(株)フジタ建設コンサルタント、JR 四国(株)、(株)四電工、ニチコン(株)、(株)ソシオネクスト、シャープ(株)、アサヒブリテック(株)、日立工機(株)、徳真電気工業(株)、ヒューテック(株)、四国計測工業(株)、NTT コミュニケーションズ、富士通デン(株)、日新電機(株)、ホンデン(株)、(株)LIXIL、(株)大真空、スタンレー電気(株)、アオイ電子(株)、(株)大一器械ほか

○大学院修士課程進学率(過去3年)

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平均
工学部	65.0%	61.2%	66.5%	64.2%
総合科学部 総合数理学科	15.9%	5.7%	10.8%	11.0%

大学院進学に関するアンケート

問1. 理工学部3年次の方に伺います。あなたの現在のコース（系）をお答えください。

1. 社会基盤デザイン
2. 機械科学
3. 応用化学システム
4. 電気電子システム
5. 情報光システム(情報系)
6. 情報光システム(光系)
7. 応用理数コース(数理科学系)
8. 応用理数コース(自然科学系)

問2. 新設予定の大学院理工学専攻（修士課程）の特長を表面に記しました。現代社会のニーズに応え、今後必要とされる高度専門職業人を養成する本大学院に、あなたは進学したいと思いますか。現時点の希望をお答えください。

1. 進学したい
2. 就職したい
3. 未定

問3. 問2で「1.進学したい」と回答した方に伺います。あなたは、どのコースを希望していますか。現時点の希望をお答えください。

1. 社会基盤デザインコース
2. 機械科学コース
3. 応用化学システムコース
4. 電気電子システムコース
5. 知能情報システムコース
6. 光システムコース
7. 数理科学コース
8. 自然科学コース

問4. 問2で「1.進学したい」と回答した方に伺います。表面に記載のとおり、2022年4月に博士課程も設置する計画です。学部・修士・博士課程の接続性に配慮した教育を行う、この博士課程に進学したいと思いますか。現時点の希望をお答えください。

1. 進学したい
2. 就職したい
3. 未定

◆ 質問は以上です。本アンケートは、学部学生の皆さんのご意見を参考に、皆さんのニーズに一層お応えできるよう大学院再編に役立たせていただきます。それ以外の目的では一切使用しません。

◆ ご協力ありがとうございました。

(大学院改革ワーキング・グループ)